

## 中心市街地活性化シンポジウム

中心市街地の魅力を高めるために



1月19日(火)東京都千代田区都市センターホテルにおいて、平成21年度中心市街地活性化シンポジウムが開催されました。

当協議会からも木野本事務局長と委員の新堂氏が参加しました。

経済産業副大臣の増子輝彦氏の挨拶の後、関西学院大学商学部教授・石原武政氏より基調講演がありました。石原先生は、経済産業省市町村の中心市街地活性化の取り組みに対する診断・助言事業検討委員会委員長、中心商店街区域再生研究会等を歴任されておられ、関西人にはなじみが深い方です。題目は、「中心市街地の魅力を高めるために」で、内容は、1. 中心市街地活性化の流れ、2. 中心市街地活性化は本当に必要か？、3. 商店街における地権者問題、4. 具体的に何をするか、でした。結びとして中心市街地活性化は都市の50年の大計であるので夢をもちながらも、将来を冷静に見つめ、覚悟をもって取り組まなければならない、まちづくりは終わりのない長い運動とのことでした。

続いて、熊本城東マネジメント株式会社取締役 木下斉氏より「明日から始める財源事業：地域の負担にならない、まちづくり会社経営」の事例発表がありました。専門は、中心商店街マネジメント、まちづくり会社経営戦略で、熊本の城見町通り商店街地区54店

舗で産業廃棄物プログラムの内容について説明がありました。各店でバラバラにゴミ処理業者と契約しているが、業者を一本化することにより契約金をディスカウントでき、そのお金を各店舗還元、再投資基金積立金、事業費の3分割を基本として進め、短期的なコスト削減だけでなく、中長期的なまちの成長のために投資、マネジメント事務局運営の為に資金としても活用しているとのことでした。

奈良市でも、このことは参考になるとおもっています。

続いて、株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役 清水義次氏より「家守～不動産活用の真髓」の事例発表がありました。専門は、都市生活者を観察し、その潜在意識の変化を読み取ることを基本にした都市



地域プロデュース、建築プロデュース、プロジェクトマネジメント等を行っておられる方で、近年は、家守事業を手がけ千代田区神田地区及び新宿歌舞伎町における現代版家守業の実践と啓蒙に注力しておられます。



家守（やもり）とは、江戸時代、不在地主に代わって家屋を管理する役割の人で、店子から持ち込まれたありとあらゆる面倒ごとの相談に乗っていたとことです。

今、そのまちのマネジメントの仕組み「家守」を現代に取り入れて、空家の多いビルの店子集めから、地元の職人・企業との交流による起業支援などを手がけ、まちを再生しようという実践的な試みが全国各地で始まっており、その活動の神田地区での取り組みについて説明がありました。

事例発表の後は、広島県呉市や府中市でタウンマネージャーとして活動されている中小企業診断士の原田弘子氏も参加されて、パネルディスカッションがありました。石原先生の司会で、各パネリストへの一歩突っ込んだ質問、また参加者の質疑応答等、意義あるシンポジウムでした。

## NEWS

# JR奈良駅桜井線高架化

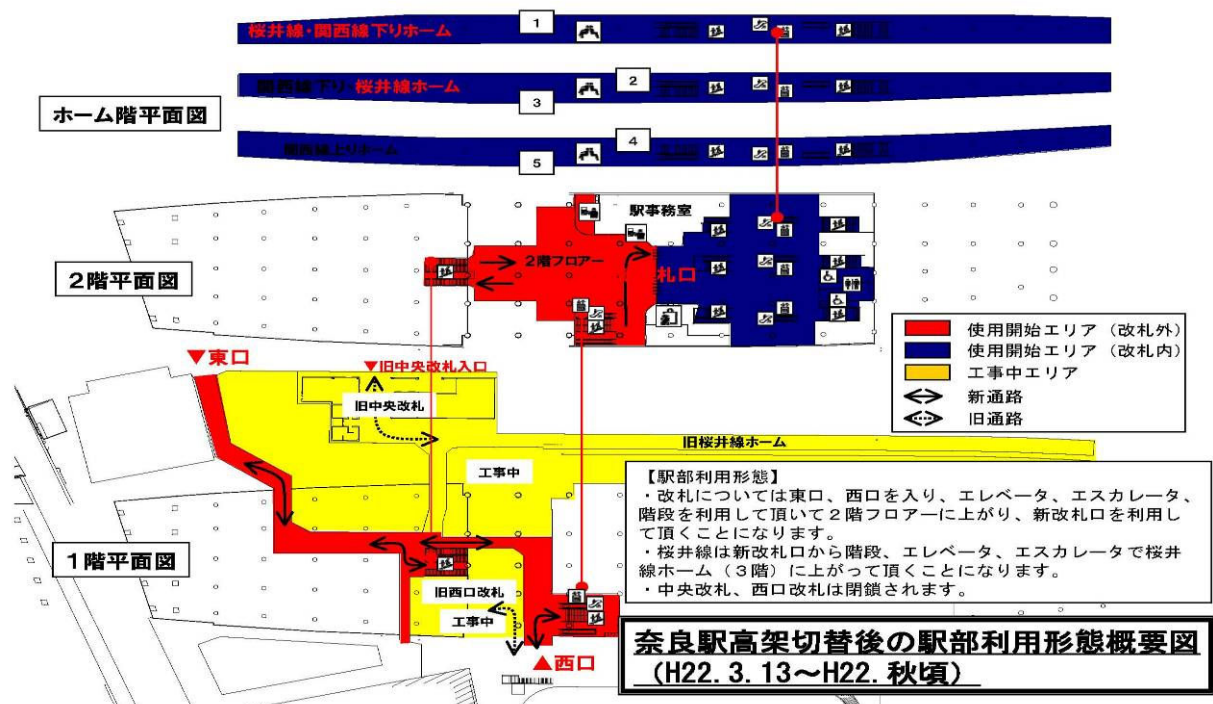
## NEWS

JR西日本は、この度3月13日（土）からJR奈良駅連続立体交差事業の桜井線高架化（1.3キロの区間）の供用開始を発表しました。これに伴って13日早朝より奈良駅の改札口も変更になります。

JR西日本は、昨年桜井線の愛称名を公募し、4,730

件の応募件数の中から昨年末に選考、愛称名を「万葉（まんよう）まほろば線」に決定、愛称名使用開始日も供用開始の3月13日からとしました。

奈良駅高架切替後の駅部利用形態概要図につきましては、下記のとおり発表されております。



# 「中心市街地まちなかウォッチング」 開催のお知らせ



3月27日（土）に協議会のイベント事業として「中心市街地まちなかウォッチング」を中心市街地エリア内の商店街等の協力を得て開催いたします。

このイベントは、奈良市の中心市街地のまちづくりに広く市民の方々に関心を持っていただくため、エリア内の店舗や街並みや文化資源などを巡っていただき、新たな魅力発見に努めていただくことを目的に開催いたします。

このイベントは、市民等に広く周知を図ることが出来てイベントにも精通している事業所にプロポーザル方式により公募し、選考の結果、奈良テレビ放送株式会社に企画・運営を委託しています。

イベント内容につきましては、下記のとおりとなっております。

1. 催 名      ならセグスタンプラリー 中心市街地まちなかウォッチング！
2. 主 催      奈良市中心市街地活性化協議会
3. 企画・運営   奈良テレビ放送株式会社
4. 日 時      平成 22 年 3 月 27 日（土） 10：30～14：00
5. エリア      奈良市中心市街地エリア内でご協力いただける商店街
6. 内 容      奈良テレビのワンセグ放送「ならセグ」特別番組と連動させたスタンプラリー。  
\*スタンプラリー  
時間内にご協力店舗で試食・試飲していただき、スタンプを押していただく。  
\*特別番組  
11：00／11：30／12：00／12：30／13：00  
番組を5パターン制作し、上記時間にそれぞれ30分間（5分番組×6回）  
放送。それぞれの番組内でひらがな1文字を発表し、5文字をならべて、  
キーワードを完成させる。  
スタンプ10個＋キーワードで図書券をプレゼント。  
さらに抽選で「お楽しみ袋」をプレゼント。
7. 対象者      一般告知によって募集する参加者 100名〈グループ参加大歓迎！おひとりでもOK〉  
1グループに1台ワンセグ携帯を持っている方。
8. 告知方法      奈良テレビ放送CM 他
9. 応募方法      ハガキまたは奈良テレビHP申し込みフォームより応募。  
2月13日（土）～定員に達するまで  
●ハガキの場合：  
〒630-8575 奈良テレビ放送  
中心市街地まちなかウォッチング係  
〔必要事項：住所・電話番号・参加者全員の氏名・年齢〕  
●HPから：  
奈良テレビ放送ホームページより申し込み
10. 問合せ先   奈良テレビ放送 TEL.0742-24-2940





## ～ お知らせ ～

### ◎ シネマデプト友楽が閉館

年が明けた1月中頃、1942年3月（昭和17年）に開館し奈良の中心市街地の顔とも言える映画館「シネマデプト友楽」が、1月末日をもって68年の歴史を閉じ閉館されるというニュースが飛び込んできました。

近隣商店街等の提携店舗で500円以上お買い上げのレシート提示で鑑賞料金が割引後1,000円になるとか、奈良市発行の老春手帳の提示の方はいつでも900円、また近鉄・奈良交通の定期券提示で平日のみ1,000円、大学生3人以上なら内一人は1,000円とか、留学生2人以上なら内1人は1,000円など他の映画館では行われていない地域住民に溶け込んだ独自のサービスを提供していただいておりますだけに、今回の閉館は中心市街地の事業者や地域住民、また通勤通学のサラリーマンや学生にとって大変衝撃的なお知らせとなりました。

要因は昨今郊外に進出のシネマコンプレックスの出店や、大型テレビの普及に伴うテレビによる映画放映など視聴者のニーズの変化によるのではと推察されます。



同館では、29日～31日に本館で「ローマの休日」（字幕版）や「おくりびと」など名作8作品を一律500円で上映。またイースト館でも「沈まぬ太陽」など一律1,000円で鑑賞できる「さよならイベント3days」で幕を閉じられました。

「シネマデプト友楽」の閉館は、中心市街地の賑わい及び文化が消える出来事だけに残念でなく今後のことは、中心市街地活性化の観点から、協議会としても新たな課題として取り組まなければならないと認識しております。

### ◎ 「大門市場」が閉鎖！

1960年（昭和35年）に開業し、奈良市で最も古い市場の「大門市場」（今小路町）がこの1月末で閉鎖されました。

最盛期には市場内に36店舗あって近隣住民はもとより離れた月ヶ瀬や柳生からも買物客が訪れられ大変

賑わっていましたが、その後郊外に進出してきた大型店や近隣にも大型スーパーなどの出店により買物客が減少。店舗数も現在は、8店舗と減少しました。

大門市場も、何とか生き残りをかけ空き店舗対策や、地域大学との共同で誘客イベントなど活性化に向け取り組んでこられました。

地域に根ざして50年、近隣住民の常連客からは対面販売による人情味溢れた同市場の閉鎖を大変残念に思っておられる方が沢山おられます。

市場の皆さんは、大門市場を忘れないでほしいと1月24日に「大門50周年感謝祭」を開催、それぞれの店主らによる歌や踊りの披露や、甘酒やフランクフルトが無料で振る舞われました。

今後の跡地等を含めた利用状況については当協議会としても見守って参りたいと考えております。

